

他のソフトとの連携

スーパーソフトウェア社製の建築CADの建物データを取り込む場合

スーパーソフトウェア社製の建物データを取り込む場合、建築CAD側でRIKCAD21のオブジェクトファイルである「.gsm」形式で保存してもらい、それをRIKCAD21でオブジェクトツールとして選択、配置します。

<連動作業>

建築CAD側で「.3ds」ファイル及び、その建物で使用した画像ファイルと共に送ってもらう。

送られてきた「.3ds」ファイルと画像ファイルが入ったフォルダをRIKCAD21で保存するplnファイルと同じ場所に入れる。

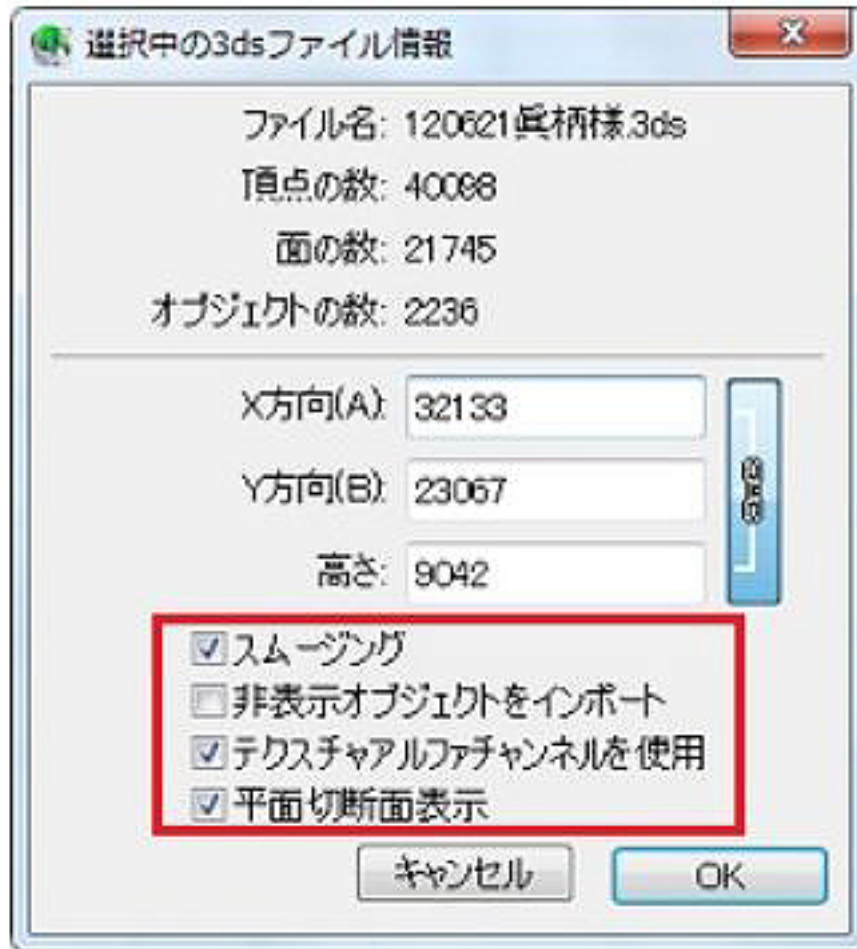
RIKCAD21を起動。

メニューバーより「作図 - 補助」「3dsコンバーター」「3dsオプション」をクリック。
「変換設定」欄内の座標が「 $x = x$ 」「 $y = y$ 」「 $z = z$ 」。図面単位が「1.00mm」。
「配置設定」欄内の『底辺を $z=0$ に変換』にチェックがあり、
『重心を $x=0,y=0$ に変換』にチェックが外れていることを確認し、OKボタンをクリック。



メニューバーより「作図 - 補助」「3dsコンバーター」「3ds gsm変換」をクリック。
の場所から3dsファイルを開き、「非表示オブジェクトをインポート」のチェックだけ外し
OKボタンをクリック。

他のソフトとの連携



変換作業完了後、オブジェクトツールの設定画面を開くと変換した建物が選択されているので配置。

物件管理システムを使用したRIKファイルの取込み方法

一意的なソリューション ID: #1308

製作者: 亀田

最終更新: 2017-05-06 11:25